

## 中学校 リベルタス（総合的な学習の時間）シラバス

### 3年間のねらい、学習目標

21世紀を生きる子どもたちに求められているものは何であろうか。例えば、2015年に国連で採択されたいわゆる「持続可能な開発目標（SDGs）」では、貧困や紛争を無くすこと、気候変動への対応や資源の確保のほか、人々の健康・福祉・教育・平等・パートナーシップ等々、2030年までに達成すべき具体的な目標が掲げられている。これらの解決のためには国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもも含めたすべての人が対話を通じて利害関係を調整し、それぞれの立場から「持続可能な世界」の実現のために行動することが求められている。そのためには自分自身や社会の現状を知ることからはじめ、他者や他地域への理解や関心を深めるとともに、自分の思いや考えを正確に表現する力を養うことが肝要である。そして自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、対話を通してよりよく問題を解決する資質や能力を身につけるために、知識の獲得はもちろんのこと、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力等の育成も必要不可欠である。一方、「人生100年時代」を見据えて、いつでも「学び直し」をしようとする意欲、主体的に学ぶ姿勢を身につけることも求められている。

総合的な学習の時間においては、他者とのかかわりのなかで積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢や、自らの考えを的確にかつ共感的に受け止められるように表現する技能を身につけることを目標とする。3年間のさまざまなアクティビティを通して自己肯定感を養い、未来や社会に対する能動的な考え方を得ることを目指す。

|                       |     |                 |
|-----------------------|-----|-----------------|
| 第1学年                  | 教科書 | なし              |
| 総合的な学習の時間<br>(週2時間 ※) | 副教材 | ENAGEED vol.1~7 |

※ 帯の時間を含む

### 学習到達目標

- ・様々な事への興味関心を育むと共に、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・自分の意見や考えを自由に発信できるようになる。
- ・身の回りの問題や課題を自分との関わりの中で積極的にとらえられるようになる。

### 学習方法

ENAGEED vol.1~7の教材を使用し、自分の考えや意見をまとめる。その後、クラス内にてグループワークを行い、他者の考えや意見を聞き、取り入れる事によって、自分の視野や価値観の幅を広げる。

校外学習等を通して、自らのキャリアについて考える。

### 年間シラバス（1年間の学習予定表）

<週2時間 ※ 帯の時間を含む>

| 学期  | 学習内容・項目           | 学習のポイントと到達目標  | 評価の観点と補講等  |
|-----|-------------------|---|--|
| 1学期 | 1. 次世代スキル (vol.1) | ≪学習のポイント≫ 未来、社会に対する能動的な考え方を得るために、自分の力で身の回りの問題を解決できることを理解する。<br>≪到達目標≫ 気づく力→発案する力→実現する力の構造を理解することができる。 | ・社会や将来に対する関心・意欲<br>・積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢<br>・自らの考えを表現する姿勢・技能 |
|     | 2. 社会 (vol.2)     | ≪学習のポイント≫ これからの時代に求められる「価値」の考え方を学ぶ。<br>≪到達目標≫ 仕事が生む価値・感情を理解することができる。                                  |  |

|             |                 |  |
|-------------|-----------------|--|
| 2<br>学<br>期 | 1. 未来 (vol.3)   | <p>《学習のポイント》将来を想定し、「できない理由」ではなく、「できる理由」を発見することの重要性を学ぶ。</p> <p>《到達目標》逆算思考について学ぶ。</p>                          |
|             | 2. 海外 (vol.4)   | <p>《学習のポイント》「ゼロから1を生むワーク」を通じ、国境を越えて活躍する可能性を理解する。</p> <p>《到達目標》グローバルマインドを持つことができる。</p>                        |
|             | 3. 他者視点 (vol.5) | <p>《学習のポイント》立場が変わると様々な問題を見つけられるということを想定し、自身の解決策の幅を広げる。</p> <p>《到達目標》他者の視点で物事を考えることができる。</p>                  |
| 3<br>学<br>期 | 1. 挑戦 (vol.6)   | <p>《学習のポイント》「壁」に対する考え方を見直すことで、物事に対してのとらえ方を変えることができ、挑戦へのハードルが下がることを理解する。</p> <p>《到達目標》挑戦へのヒントを見つけることができる。</p> |
|             | 2. 目的意識 (vol.7) | <p>《学習のポイント》「自分が選んだ道を正解にする力」を身につけるために、目的意識を持つことの重要性を理解する。</p> <p>《到達目標》中学生活の中で自分が何をしたいのか、学びたいのかが分かる。</p>     |

|                                   |     |                    |
|-----------------------------------|-----|--------------------|
| 第2学年<br><br>総合的な学習の時間<br>(週2時間 ※) | 教科書 | なし                 |
|                                   | 副教材 | 浜島書店 『国語便覧 (大阪府版)』 |

※ 帯の時間を含む

### 学習到達目標

中学1年生で身につけた基礎的な表現力をもとに、さらに発展的な表現力を身につける。特に事実と意見を区別する作業を重視し、与えられた材料について、自分の意見をまとめる力を育てる。また、レポート・壁新聞・スライド等の作成を通して、情報発信のさまざまな方法を習得する。

### 評価の観点

|              | 知識及び技能  | 思考力、判断力、表現力等   | 学びに向かう力、人間性等  |
|--------------|---|--|---|
| 評価<br>規<br>準 | <p>図書やインターネットを使って調査をする方法や、調査結果を提示するのにふさわしい図表の使い方、引用の仕方を理解し、それらを適切に利用することができる。</p> | <p>調査結果から考察を導き出し、自分の意見としてまとめることができる。また、他者に伝わりやすいように論理立てて説明する文章を書ける力が身に付いている。</p> | <p>自らが立てた問いについて深く追究して調査をすることができる。また、発表において聞き手に伝わりやすいよう工夫したり、他者の意見を積極的に聞いたりする姿勢を持っている。</p> |

### 学習方法

1学期は、修学旅行の事前学習としてレポートを作成することで、資料検索の方法や資料の整理の仕方、レポートのまとめ方について学ぶ。2学期は、壁新聞等によって修学旅行の報告を行い、発表の仕方を学

ぶ。3学期は、1・2学期に学んだ調査方法・発表方法のスキルを活かして、自由に設定したテーマについて調査・発表を行い、レポートの作成とスライド等を使っての発表をし、高校の探究学習へとつながる力を養う。

**年間シラバス** (1年間の学習予定表)

<週2時間 ※ 帯の時間を含む>

| 学期      | 学習内容・項目  | 学習のポイントと到達目標  | 評価の観点と補講等   |
|---------|--|---|---|
| 1<br>学期 | 1. 文章の書き方・引用の仕方<br>2. 情報整理<br>3. 修学旅行の事前学習レポート | <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい文章の書き方や、引用の仕方、出典の示し方などを学ぶ。</li> <li>図やグラフの情報を正確に読み取る。</li> <li>読み取った情報を分析し、文章にまとめる。</li> <li>修学旅行の事前学習として、興味のあるテーマを各自で設定する。</li> <li>図書館での情報収集の方法を学ぶ。</li> <li>インターネットの適切な使い方を学ぶ。</li> <li>レポートの形式を学習する。</li> <li>調べたことを整理し、読み手にわかりやすいように工夫してまとめる。</li> </ul> | <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力等</li> <li>学びに向かう力、人間性等</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>事前学習レポート</li> <li>その他の提出物や授業態度等</li> </ol>         |
| 2<br>学期 | 1. 意見文<br>2. 修学旅行の報告作成<br>3. テーマ設定             | <ul style="list-style-type: none"> <li>事実と意見を分けて整理する。</li> <li>根拠を明確にし、説得力のある意見文を書く。</li> <li>修学旅行で見聞したことを、壁新聞等で、読み手に伝わるようにわかりやすくまとめる。</li> <li>効果的な見出しの付け方を学習する。</li> <li>内容だけでなく、レイアウトも工夫する。</li> <li>3学期に調査・発表をする研究のテーマを各自で設定する。</li> <li>設定したテーマへのアプローチの方法を模索する。</li> </ul>                         | <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力等</li> <li>学びに向かう力、人間性等</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>壁新聞等</li> <li>その他の提出物や授業態度等</li> </ol>             |
| 3<br>学期 | 1. 調査・研究<br>2. 発表                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>設定したテーマについて、資料を検索したりデータを取ったりして調査する。</li> <li>調査の結果をレポートにまとめるとともに、発表用にスライドを作成する。</li> <li>聞き手に伝わりやすい話し方を心がけて発表をする。</li> </ul>   | <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力等</li> <li>学びに向かう力、人間性等</li> </ul> <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表</li> <li>その他の提出物や授業態度等</li> </ol> |

|                               |     |                   |
|-------------------------------|-----|-------------------|
| 第3学年<br>総合的な学習の時間<br>(週2時間 ※) | 教科書 | なし                |
|                               | 副教材 | 『進路サポート』(ベネッセ) など |

※ 帯の時間を含む

**学習到達目標**

探究的な見方・考え方を働かせ、職業や自己の将来に関する課題について、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、職業や自己の将来に関する課題の解決に必要な知識と技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

**評価の観点**

|      | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学ぶ力・人間性等  |
|------|--|---|---|
| 評価規準 | 職業や自己の将来に関する課題の解決に必要な知識と技能を身に付け、課題に関わる概念を形成することができる。 | 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 | ①探究的な学習に主体的・協働的に取り組むことができる。<br>②自身の長所を生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度が身につけている。 |

**学習方法**

- (1) 自分のこととして、関心を持つ。
  - ① 授業のトピックスには、あなた自身が今現在関心を持っていることも、そうでないこともある。自分自身であれば、どのような切り口で扱われているテーマに関わろうとするか、自分のこととして、捉えてみるのが大切。
  - ② あなたのオリジナリティを見つけることが大切です。自分ならではの疑問点、他人が気づかないことで自分が気づいていることは何か、見極めてみるのが大切です。
- (2) 一生懸命提出物に取り組む。  
この科目では、課題への取り組みがとりわけ重視され、成績評価の中でも重きを置かれます。定期考査は行いませんので、ワークシート、レポートなどに真剣に取り組む、確実に提出してください。

**年間シラバス** (1年間の学習予定表)

<週2時間 ※ 帯の時間を含む>

| 学期      | 学習内容・項目                                   | 学習のポイントと到達目標   | 評価の観点と補講等   |
|---------|---|--|---|
| 1<br>学期 | ・職業適性検査<br>・進路サポートワークブック<br>・社会人講師による職業講和 | ア. 職業や自己の将来に関する課題の解決に必要な知識を身につけることができる。<br>ア. 職業や自己の将来に関する課題について、調べるための技能を身につけることができる。   | 【評価の観点】<br>・職業や自己の将来の課題に関する知識・理解<br>・職業や自己の将来の課題に関して理解・解釈するための技能<br>・職業や自己の将来の課題についての思考・判断・表現<br>・職業や自己の将来の課題に関する学習に主体的に取り組む、学んだことから主体的に活用しようとする態度<br>【評価方法】〔各学期共通〕 |
| 2<br>学期 | ・ワークショップ<br>・レポート作成<br>・私の未来の仕事コンテストへの応募  | ア. 職業や自己の将来について、学んだ事柄をもとに、課題に関わる概念を形成することができる。<br>イ. 職業や自己の将来に関する課題について、実社会や実生活の中から問題点を見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 |   |
| 3<br>学期 | など  | ウ. 職業や自己の将来に関する課題について、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むことができる。   |   |

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
|  |  | <p>ウ. 自身の長所を生かしながら,積極的に社会に参画しようとする態度が身につけている。</p> | <p>1. 学習態度等の平常点<br/> (1) 個人・グループワークへの取り組み, 発表やプレゼンテーションなど, 授業時などの学習過程で, 評価の観点の各項目について評価する。<br/> (2) レポート, ワークシート, コメントペーパー, 振り返りアンケートなどの提出状況やその内容などを評価する。<br/> (1)・(2)のいずれか,あるいは両方を総合的に評価する。(定期考査は原則実施しない。)</p> |
|--|--|---|---|

※学習内容・項目はあくまでも例示であり、生徒の関心、担当する教員の招へいする社会人講師が活躍している分野などにより、その都度変更する。